

# 植栽樹木検討専門委員会の検討結果

## 植栽樹木検討専門委員会委員

区 分	職 名	氏 名
委 員 長	鳥取大学 教授	佐野 淳之 (さの じゅんじ)
副 委 員 長	鳥取県山林樹苗協同組合 理事長	藤原 眞澄 (ふじわら ますみ)
委 員	樹木医	山本 真弓 (やまもと まゆみ)
	大山横手道上ブナを育成する会 副会長	吉岡 淳一 (よしおか じゅんいち)
	近畿中国森林管理局鳥取森林管理署 署長	塩永 博信 (しおなが ひろのぶ)
	鳥取県PTA協議会 事務局長	上原 幸穂 (うえはら さちほ)
	鳥取県農林総合研究所林業試験場 研究員	池本 省吾 (いけもと しょうご)

## 委員会の協議状況

### 第1回

平成22年7月22日(木)県庁執行部控室

- ・全国植樹祭の概要について
- ・植栽樹木検討専門委員会について
- ・植樹方針素案について

### 第2回

平成22年8月10日(火) とっとり花回廊ほか

- ・植樹会場候補地の現地検討
- ・植樹方針案の検討等
- ・植樹する森林について

### 第3回

平成22年8月31日(火)県庁第14会議室

- ・植樹方針(案)について
- ・植樹用樹種の候補案について

## 第64回全国植樹祭で植樹する森林について

### □森林生態系と生物多様性を取り巻く現状

- ・森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるためには、森林・林業の循環による持続可能な森林づくりが必要。
- ・持続可能な森林は、健全で強固な森林生態系によって維持・増進され、また、その生態系も、豊かな生物多様性に支えられている。
- ・しかし、今日、日本の生物多様性は、その豊かさが失われる危機にあるホットスポットとして、世界から注目されている現状にある。

### □植樹の目的

- ・適切な植樹活動が、生物多様性損失の危機にある森林を、再生・増進させ、未来へつなぐことができることを全国に発信

### □目標とする森林の姿

- ・森林生態系の健全性を維持・増進しつつ、その活力を利用して、県民の多様なニーズに永続的に対応できる森林

### □植樹予定地の現況（いずれも、生物多様性損失の危機にあると判断）

#### ・花回廊

里山的利用（立木や枝葉・下草を、家庭用燃料や肥料として採取利用）が行われなくなったため、草木が乱雑にしげった「やぶ」状態となっている。

#### ・鏡ヶ成

森林を開墾した茅場。利用されなくなって十数年が経過。現在、地表はススキが覆っているため、低木の侵入はあっても森林状態には回復していない。

### □森林づくりの方向

場所	方向性
花回廊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薪、木炭、シイタケ原木となる立木や枝の採取、堆肥となる落ち葉や下草の採取、野生キノコやクリ等果実の採取、四季折々の美しい花木の鑑賞、野鳥の観察、カブトムシやクワガタ等昆虫の観察等の場として利用可能なため、これら「里山のめぐみ」の体験フィールドとしての森林づくりを進める。</li> <li>・やぶを整理し、植栽が必要となった森林では、里山林を構成するコナラ・クリ等のナラ類をメインとし、薪やシイタケ原木、身近で美しい花木も植栽する。</li> <li>・多様性の高い森林は、現状のまま自然林として生かす等、将来利用を考えて、植栽樹木のゾーニングを行う。</li> </ul>
鏡ヶ成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立公園内の自然や厳しい気候等現地に配慮しつつ、ススキに覆われた開墾地を森林状態に早急に戻す森林づくりを進める。</li> <li>・植栽木のメインは現地適性の高いナラ類とし、ミズナラ、ブナ、ホオノキ、トチノキ、オオヤマザクラ、ミズキ、カエデ類等（特徴的のある土壌であるため、現地周辺で自生している樹種を選定）を混植する。</li> </ul>

## 第64回全国植樹祭の植樹方針(案)

<p>1 植樹にあたっては、植栽はもちろんのこと、種子の採取から育成、養苗もその対象との考えの下、県民の手で育てた苗木も使用することを基本とする。</p>	<p>6 お手播き用種子樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する種子は1樹種当たり1リットル程度、式典会場でお手播き箱に播種</li> <li>・本県における関わりが特に深く、高木で長寿種等とする</li> <li>・お手植えとは別にそれぞれ2種ずつ選定 計4種</li> <li>・お手播きされた種子から養成した苗木は、鳥取県が管理・育成し、県内の市町村、教育施設、病院、その他の公共施設等に広く「記念樹」として配布し、植樹いただく。なお、苗木は、遺伝子攪乱の原因とならないよう、少なくとも種子の採取された地区(県東中西部)に配布する様に管理する。</li> </ul>
<p>2 植栽樹種の選定にあたっては、本県の気候風土に適し、県民に親しみのある、四季折々の花木など季節感のあるものを基本とする。</p>	
<p>3 一般参加者が植栽する苗木は、植樹会場の近隣で大山山麓から採取した種子等からの芽生えを使用する等、遺伝子攪乱の原因とならないよう配慮し、遠方からの移入等は行わない。</p>	<p>7 特別招待者の代表記念植樹用樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苗高 1.0m程度、式典会場で植樹</li> <li>・お手植えと同樹種を選定</li> </ul> <p>計6種 (天皇皇后両陛下と同じ樹種を植樹)</p>
<p>4 植樹会場の設定にあたっては、適地適木で自生している樹木を可能な限り残すこととするが、将来の目標林型に出来るだけ早く到達できるよう、不足するところに植樹を行うことを基本とする。</p>	
<p>5 お手植え用苗木樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苗高 1.0～1.2m程度、式典会場で植樹</li> <li>・本県における関わりが特に深く、高木で長寿種等とする。</li> <li>・天皇陛下、皇后陛下それぞれ別に3種ずつ選定</li> </ul> <p>計6種 (森の字をかたどって、3本ずつ植樹)</p>	<p>8 一般参加者記念植樹用樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苗高 0.3～0.8m程度、植樹会場2箇所(江府町「鏡ヶ成」周辺と南部町「とっとり花回廊」周辺)で植樹</li> <li>・両会場の標高の違い等を考慮し、それぞれに適した県内分布の広い樹種を植樹</li> </ul> <p style="text-align: right;">5</p>

植栽地に出現する樹種(花回廊112種・奥大山高原88種・鳥取県内379種)

(環境省 自然環境保全基礎調査  
および 鳥取県林業試験場調査 より)

候補木の選定

- ① 木材利用や木づかいの伝統がある樹木
- ② 花の咲く樹木、身近な緑の樹木、紅葉の樹木
- ③ 実のなる樹木等 (つる性やほふく性、小低木の種は除外)
- ④ 県民に親しみのある樹木 など

お手植え、お手播き

- ・高木で長寿種
  - ・本県における関わりが特に深く、県民に親しみのある種
  - ・本県をアピールできる種
- ※お手植え: 苗高約1.2mの規格が確保できる

一般参加者

- ・植樹地の現地条件(標高、土壌、傾斜等)に適した近隣自生種
  - ・県内分布が広い樹種
  - ・近似種等は原則除外
- ※苗高0.3~0.8m規格が確保できる

お手植え  
天皇陛下 13種  
皇后陛下 13種

お手播き  
天皇陛下 11種  
皇后陛下 13種

種子の確保・採取や苗木育成上の問題等考慮の上なるべく多く選定。  
今後、苗木の供給が可能となった樹種が見いだされた場合、新たな選定樹種として追加。

①常緑で大木になるものに加えて、②里山に見られる花の美しさ等特徴のある落葉樹、③かつてから里山で利用のあった樹種

両陛下3種類づつ

県内配布先の公共施設等の利用者が、それを見て、植樹祭のことを、楽しく思い出せる様な、特徴のある樹種

両陛下2種類づつ

花回廊 25種

奥大山高原 20種

## ○お手植え、お手播き樹種

区分		樹種	特徴
お手植え	天皇陛下	アカマツ	里山に自生する常緑針葉樹。松くい虫への抵抗性品種(とっとりパワー松)。昭和天皇・香淳皇后のお手植え樹種。
		スダジイ	自然林を代表的する極相種(常緑広葉樹林の優占種)。
		コナラ	里山(二次林)を代表する落葉広葉樹。しいたけ原木。里山づくりの象徴として植栽
	皇后陛下	ヤマボウシ	白い花状の総苞片(そうほうへん)と夏の果実が美しい。実はおいしい。
		ウワミズザクラ	春、かわいく白い花を咲かせる。夏から秋にかけて赤い実がなる。
		ホオノキ	初夏白く美しい大きな花(日本最大)が葉上に映える。花の香りが強い。薬用樹として利用。
お手播き	天皇陛下	クリ	里山を代表する高木種。野生のいわゆる「シバグリ」。
		ヤマザクラ	里山を代表する亜高木。春に開く花が美しい。
	皇后陛下	イロハモミジ	里山を代表する高木種。美しい紅葉。
		ヤマガキ	失われつつある里山の原風景の一つ。葉が落ちて、実になったときも美しい。

## ○各植樹会場植栽樹種 (自然条件や周辺環境の状況等に応じて、森林づくりの方向に即した樹種を植栽)

場所	植栽樹種
花回廊	アオハダ、アカガシ、アカマツ、アベマキ、アラカシ、イヌシデ、イロハモミジ、ウワミズザクラ、エゴノキ、エノキ、カキノキ(ヤマガキ)、クリ、クロモジ、ケヤキ、コナラ、コハウチワカエデ、シラカシ、スダジイ、ホオノキ、マユミ、ムラサキシキブ、ヤブツバキ、ヤマザクラ、ヤマボウシ、ヤマモモ 等 (25樹種程度)
高奥大原山	アオハダ、アズキナシ、イタヤカエデ、ウリハダカエデ、ウワミズザクラ、オオカメノキ、クリ、クロモジ、コハウチワカエデ、サワグルミ、タニウツギ、ツノハシバミ、トチノキ、ナナカマド、ブナ、ホオノキ、ミズキ、ミズナラ、ミズメ、ヤマボウシ 等 (20樹種程度)